

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	③ ④ ⑧ ⑩	放課後児童ク ラブの管理運 営	子育て支 援課	市民ニーズに えられる放課後 児童クラブの運 営内容を確認 するため、運営 団体に対する 研修会の実施 、開設時間の 標準化や延長 の推進等によ り、運営体制 の充実を図る 。また、障害 のある児童や 高学年児童を 含め利用者が 増加する中で 、児童への対 応を充実する ため、適切な 指導員数を配 置するととも に、研修の充 実、指導員相 互の交流や情 報交換、障害 のある児童な どの対応を支 援するための 臨床心理士等 の巡回派遣を 行い、指導員 の資質向上を 図る。	放課後児童ク ラブ待機児童 数（4月）	0人 (R1年 度)	0人			0人 (R6年 度)	継続	2,429,999	2,628,586	増額	46,775	順調	放課後児童ク ラブの施設整 備や利用内容 の充実など、 引き続き運営 基盤を強化す る。放課後児 童支援員等の 資質向上など 、放課後児童 クラブの運営 体制の充実を 図るとともに 、クラブの活 動内容の充実 を目指して、 学校や地域と の連携を図り 、魅力あるク ラブの運営を 促進する。 乳児・幼児期 の教育・保育 を「北九州市 子ども・子育 て支援事業計 画」に基づき 、計画的に提 供していく。ま た、教育・保 育施設の利用 状況や利用者 の希望ととも に、幼稚園、 保育所事業者 の意向などを 踏まえ、幼 稚園と保育所 の機能を併せ 持つ認定こ ども園への移 行支援・普及 に努める。	順調
							0人												
							100.0 %												
						放課後児童ク ラブの利用を 希望する児童 の受け入れ	100% (R1年 度)		100 %	100 %	100% (毎年 度)								
						放課後児童ク ラブに対する 満足度（開所 日、開所時間）	70.1% (R1年 度)	前年度 比向上	前年度比 向上	前年度比 向上	R1年度 比向上 (R6年 度)								
							70.1 %												
							94.7 %												
						運営内容に関 する自己評価 実施クラブ率	R2年度 より実 施		100 %	100 %	100% (毎年 度)								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度		R2年度										R3年度
2	③ ④ ⑧	保育所運営事業	保育所	保育課	仕事と子育ての両立支援を推進するため、保育を必要とする子どもは誰でも保育所に入所でき、多様なニーズに応えながら、子どもの健やかな育成を支援する保育サービスの実現を図る。	保育所待機児童数 (4月)	0人	0人	0人	0人	0人 (毎年度)	継続	16,261,753	14,677,082	減額	5,800	大変 順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」を着実に進め、認定こども園への移行支援や保育所の老朽改築に合わせて入所定員の拡大を図るとともに、保育士が働きやすい環境を整備することによって保育士確保に取り組み、待機児童の継続的な解消を図る。事業費については、11所の保育所が認定こども園へ移行する予定であるため、昨年度比減となった。		
							0人	0人	0人	0人										
							100.0%													
						保育所待機児童数 (10月)	0人	0人	0人	0人	0人 (毎年度)									
							0人	0人	0人	0人										
							100.0%													
3	③ ④ ⑧	幼稚園・認定こども園運営事業	幼稚園・こども園課	私立幼稚園（新制度対象）や認定こども園の運営費を助成する。	保育所待機児童数 (10月)	0人	0人	0人	0人	0人 (毎年度)	継続	6,033,152	7,827,450	増額	5,400	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に移行する私立幼稚園及び認定こども園に対して支援を行っていく。			
						0人	0人	0人	0人											
						100.0%														
					施設型給付へ移行する私立幼稚園数	26箇所	30箇所	31箇所	希望園の 全てが 移行 (R6年度)											
						26箇所														
						100.0%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-1-(1)-② 年間を通じた 待機児童解消 策の推進など 保育の充実	4	③ ④ ⑧	一時預かり事 業	幼稚園・こ ども園課	「子ども・子育て 支援新制度」に より実施する一 時預かり事業に おいて、保護者 のニーズに 応じて教育時 間の終了後等 に預かり保育 を実施する私 立幼稚園を支 援する。	事業を実施する 施設数	53箇所 (R1年 度)	目標 78 箇所	実績 63 箇所	達成率 80.8 %	60箇所 (R6年 度)	継続	214,000	211,298	維持	4,650	順調	引き続き、幼稚園が実施す る一時預かりに要する費用を 助成し、子ども・子育て支援 の推進を図る。	順調	「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」に基づき、保 育の量の確保に努めていく。 保育士等の人材確保に取り 組むとともに、教育・保育の 質の向上を図るため、体系的 な研修等を通じて幼稚園教 諭、保育士等の専門性の向上 に取り組む。 子どもの生活リズムに十分 配慮しながら、幼稚園におけ る預かり保育や保育所におけ る延長保育、休日保育など、 多様なニーズに対応した保育 サービスの充実を図る。
						午後8時まで延 長保育を実施す る保育所の施設 数 ※指標廃止	2箇所 (R1年 度)	目標 3 箇所	実績 2 箇所	達成率 66.7 %	R1年度 水準を 維持 (R6年 度)									
5	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	保育課	保護者の就労形 態の多様化等に 対応するため、 保育所の保育時 間を午後7時 もしくは8時 まで延長する 「延長保育」の 充実を図る。ま た、保護者の パート就労や 育児リフレッシュ 等の理由により 、一時的に家庭 での保育が困難 となる児童を 保育所におい て保育する「一 時保育」の充実 を図る。さらに 、保育所の通常 保育に加え、 延長保育や一 時保育におい ても、集団保 育の可能な障 害のある児童 の受け入れを 行う「障害児保 育」の充実を 図る。	午後7時まで延 長保育を実施す る施設数 ※指標廃止	153箇所 (R1年 度)	目標 158 箇所	実績 153 箇所	達成率 96.8 %	R1年度 水準を 維持 (R6年 度)	継続	725,575	705,770	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化 等に対応するため、「北九州市 子ども・子育て支援事業計 画」に基づき、事業を継続す る。  【指標廃止・追加の理由】 保育所から認定こども園へ の移行などにより施設数は変 動するため、実施施設の割合 を指標とするとともに、主要 な指標に整理する。			
					午後7時まで延 長保育を実施す る施設の割合 ※指標追加	93.9% (R1年 度)	目標 /	実績 /	達成率 /	現状値 と同水 準 (R6年 度)										
					一時保育事業の 実施施設数 ※指標廃止	82箇所 (R1年 度)	目標 86 箇所	実績 82 箇所	達成率 95.3 %	R1年度 水準を 維持 (R6年 度)										
					一時保育事業の 実施施設の割合 ※指標追加	56.2% (R1年 度)	目標 /	実績 /	達成率 /	現状値 と同水 準 (R6年 度)										

子ども家庭局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)										
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標									
6	③ ④ ⑧		病児保育事業	保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病氣中、病氣回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	病児保育施設利用者数	9,029人 (R1年度)	目標 前年度 (8,907人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	179,646	189,732	増額	2,900	順調	「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」に基づき、病児保育事業を推進するため、引き続き新規施設の設置や既存施設への支援を実施する。 事業費については、R3年3月の1施設新設に伴い、昨年度比増となっている。											
						実績	9,029 人																						
						達成率	101.4 %																						
7	③ ④ ⑧		保育サービス コンシェル ジュ事業	保育課	保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「ウーマンワークカフェ北九州」に保育サービスコンシェルジュを配置する。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年 度)	目標 0 人	0 人	0 人	0人 (毎年 度)	継続	33,200	35,567	その他	2,900	大変 順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供を行うため、引き続き、全区で12名を配置し、待機児童対策に取り組む。											
						実績	0 人																						
						達成率	100.0 %																						
						保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年 度)	目標 0 人	0 人	0 人	0人 (毎年 度)										継続	33,200	35,567	その他	2,900	大変 順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供を行うため、引き続き、全区で12名を配置し、待機児童対策に取り組む。		
						実績	0 人																						
						達成率	100.0 %																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
	8	③ ④ ⑥	保育士等の確保	幼稚園・こども園課 保育課	待機児童の解消を図るため、下記の事業により保育士等の人材確保に取り組む。 ・保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象とした就職説明会・保育士の資格等を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人を対象とした研修） ・保育士・保育所支援センター事業等（保育士の就職支援や相談等による離職防止） ・幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等） ・予備保育士雇用費補助事業（年度当初に配置基準を超えて雇用した保育士の人件費の一部を補助） ・保育士宿舍借り上げ支援事業（市内保育所・認定こども園を運営する法人が保育士の宿舍を借り上げるための費用の一部を助成）	保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	0人	0人	0人	0人 (毎年度)	継続	158,598	105,606	減額	15,100	順調	今後も関係機関との連携を図ると共に、情報発信に努め、保育士や保育士資格取得見込者の保育所等への就職支援の充実を図る。 また、研修内容を充実させると共に受講者の拡大を図るためのさらなるPR活動や、保育士宿舍借り上げ支援事業等の継続実施により、保育士の確保を図る。 事業費については、実績に応じた見直しをした結果、昨年度比減となっている。		
							目標	0人	0人	0人										
							実績	0人												
							達成率	100.0%												

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
I-1-(1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	9	③	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 (妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	目標	前年度比増加											順調 今後も、国の動向を注視しながら、関係機関とうまく連携し、妊娠や乳幼児の疾病または異常の早期発見・早期支援に取り組み、子育ての孤立化や育児不安の解消に努めていくとともに、様々な機会を通じ、育児に関する相談など専門的な支援や情報提供を行い、母子の健康づくりに寄与していく。		
						※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～R1年度】」掲載内容	実績	92.3 %			H25年度比増加(R1年度)										
						93.4% (H25年度)	達成率	101.2 %													
						妊婦健診受診率	目標		前年度水準を維持	前年度水準を維持											母子保健情報の利活用の推進に向けて、健診項目を見直し、妊婦健康診査、乳幼児健康診査を継続して実施し、妊婦や乳幼児の健康の保持増進を図る。
						96.7% (R1年度)	実績				R1年度水準を維持(R6年度)										
						達成率															
3歳児健診受診率	目標		前年度水準を維持	前年度水準を維持														子育てに関する経済的な負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費助成を継続して実施する。 通院医療費助成対象を、令和3年4月より中学生まで、令和4年1月より高校生まで拡充する。これに伴い、事業費が前年度比増となった。			
96.4% (R1年度)	実績				R1年度水準を維持(R6年度)																
達成率																					
10	③		子ども医療費支給事業	子育て支援課	子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費の自己負担額を助成する。	医療費支給制度の維持	目標	維持	維持	維持									順調		
						—	実績	維持			維持	継続	2,850,100	3,180,000	増額	12,300					
						—	達成率	—													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
11	③		すくすく子育て支援事業	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業（児童虐待予防事業）、その他母子保健に関する事業を実施する。	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	目標	前年度比増加				H25年度比増加（R1年度）	継続	24,988	22,867	減額	6,150	順調	育児の孤立化を防ぐため、引き続き妊娠・出産・育児における保健事業を実施する。事業費については、実績に応じた見直しを行った結果、昨年度比減となっている。
							実績	92.3 %											
							達成率	101.2 %											
						なんでも相談の実施率	目標	前年度水準を維持	前年度水準を維持		R1年度水準を維持（R6年度）								
							実績	100%（134箇所）（R1年度）											
							達成率												
12	③		のびのび赤ちゃん訪問事業	子育て支援課	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつける。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援する。	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の達成率	目標	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加		R1年度比増加（R6年度）	継続	48,068	47,997	維持	4,115	順調	子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、引き続き関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図る。  【中期目標の変更内容】 R1年度水準を維持から、R1年度比増加に変更した。
							実績	94.6 %											
							達成率	99.5 %											
						※中期目標改訂	目標	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加									
							実績												
							達成率												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善																					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)															
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標														
13	③ ⑬		妊娠・出産・ 養育にかかる 相談・支援事 業	子育て支 援課	若年の妊婦や産 後うつなど、養育 支援を必要とする 家庭に対し、訪問 指導員を派遣し、 家事を支援すると ともに、思いがけ ない妊娠等に悩む 女性に対する電話 相談等を実施す る。 また、多胎妊産 婦の育児等の負担 感や孤立感を軽減 するための支援を 行う。	子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合（就学前 児童の保護者）	44.7% (H25年 度)	目標 前年度比 減少							継続	57,263	64,927	増額	990	順調	引き続き、思いがけない妊 娠や不妊、不育症などの専門 相談と、養育支援が必要な方 へのヘルパー派遣、こんにち は赤ちゃん！小児科訪問（ペ リネイタルビジット）事業を 実施する。また、出産直後の 母子に対して、心身のケアや 育児のサポートを行う産後ケ アを実施し、安心して子育て ができる支援体制を構築する とともに、産後うつを早期に 発見するため、産後健康診査 等への支援を行うなど産後ケ ア体制の充実（産婦への心理 的ケアや保健指導、健康診査 費用の助成、多胎児に関する 育児支援）を図り、産前、産 後支援について一体的に取り 組んでいく。 令和2年10月から開始した 産後ケア、産婦健康診査を、 令和3年度は年間計上したた め、事業費は昨年度比増と なった。													
						※「現状値」及 び「中期目標」 は「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 【H27～R1年 度】」掲載内容	実績 35.5 %			H25年度 比減少 (R1年 度)	達成率 95.3 %																							
14	③		<新>一般不 妊治療費等助 成事業	子育て支 援課	医療保険が適用 されず高額な医療 費がかかる配偶者 間の一般不妊治療 (人工授精)及び 不育症検査・治療 に関する費用を一 部助成する。	養育支援ヘル パー実施	実施 (R1年 度)	目標		継続実施	継続実施				継続	—	—	12,000	—	4,115	—	医療保険が適用されず高額 な医療費がかかる配偶者間の 一般不妊治療（人工授精）及 び不育症検査・治療に関する 費用を一部助成し、経済的負 担の軽減等を図る。												
						実績				継続実施 (R6年 度)	達成率																							
						目標			実施																									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
I-1-(1)-④ 子育ての不安や悩みを軽減する環境づくり	15	③	子育てに関する情報提供の充実	総務企画課	子育て中の人が、子どもの成長に合わせた情報をタイムリーかつ手軽に入手できるよう、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図り、必要とする市民に子育ての情報を的確に届ける。 また、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、市民や地域の担い手に周知することで、地域全体で子育てを支援する環境づくりの一助とする。	「こそだて情報」及び「子ども家庭レポート」による情報提供の実施	発行 (R1年度)	目標	発行	発行	発行	発行の継続 (毎年度)	継続	5,055	5,002	維持	6,150	順調	子育て中の人が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ気軽に入手できるように、情報誌の内容の充実を図る。	順調	身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりなど、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。 親子ふれあいルームや子ども・家庭相談コーナーの相談員等の資質向上を図るなど、子育てに悩みや不安を持つ保護者が、分かりやすく利用しやすい相談体制の維持に努める。 子育て中の人が知りたい情報をタイムリーに手軽に入手できるように、情報誌やホームページなどを活用した情報提供を行う。
	16	③ ⑪ ⑰	親子ふれあいルーム運営事業	子育て支援課	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減し、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを区役所や児童館などで運営する。	親子ふれあいルーム利用者数 (乳幼児数)	31,889 人 (R1年度)	目標	H25年度 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年度)	継続	37,202	36,935	維持	7,275	順調	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安の軽減に寄与するため、更なる運営の質の向上を図る。		
	17	③ ⑯	子ども・家庭相談コーナー運営事業	子育て支援課	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、ひとり親家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	35.5% (R1年度)	目標	前年度比 減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比 減少 (R6年度)	継続	100,123	126,400	増額	6,075	順調	子どもに関する相談は増加傾向にあり、引き続き相談体制を強化し、子育ての負担を感じる方への迅速かつ適切な支援を図る。 事業費については、虐待が認められる家族等に対する支援機能の強化を図るため、昨年比増となった。		
			子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	41.6% (R1年度)	目標	前年度比 減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比 減少 (R6年度)												
					実績	35.5 %	達成率	95.3 %													
								実績	41.6 %												
								達成率	103.5 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)									
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標								
18	③		子育て支援総合コーディネーター事業	保育課	<p>「子育て支援サロン“びあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。</p> <p>また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出を行い、子育て支援の充実を図る。</p>	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	35.3% (R1年度)	目標	前年度比減少	前年度比減少	前年度比減少	R1年度比減少 (R6年度)	継続	14,299	13,874	維持	4,150	順調	子育て相談体制を整備し、関係機関との連携もさらに深めて情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。今後も子育て世代のニーズを把握して育児講座を開催する。									
								実績	35.5 %																			
								達成率	95.3 %																			
						子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	41.6% (R1年度)	目標	前年度比減少	前年度比減少	前年度比減少	R1年度比減少 (R6年度)									継続	14,299	13,874	維持	4,150	順調	子育て相談体制を整備し、関係機関との連携もさらに深めて情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。今後も子育て世代のニーズを把握して育児講座を開催する。	
								実績	41.6 %																			
								達成率	103.5 %																			

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善																						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)															
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標														
I-1- (1)-⑤ 特別な 支援を 要する 子育て 家庭への 対応	19	① ③ ⑩	母子・父子福 祉センター運 営事業	子育て支 援課	「母子・父子福 祉センター」にお いて、ひとり親家 庭や寡婦の生活上 の悩みや相談を受 けたり、仕事のた めに必要な知識や 技能を身につける ための講座等を無 料で実施する。そ の他各種研修会や 催し等を行い、ひ とり親家庭等の生 活の安定、福祉の 向上を目指す。	母子・父子福祉 センターの延べ 利用者数	10,446 人 (R1年 度)	目標	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	41,143	41,143	維持	1,480	順調	引き続き、就業支援講習会 やキャリアカウンセラーによ る自立支援プログラム策定な どの就業支援に取り組むと ともに、様々な機会を通じて母 子・父子福祉センターをPRし 認知度を上げるよう努める。	順調	ひとり親家庭に対しては、 自立に必要な制度や事業を確 実に活用できるよう、情報提 供を充実するとともに、引き 続き総合的な支援を行って いく。 家庭的養護を推進するた めの里親等への委託、地域小規 模児童養護施設等での養育を 進めるなど、子どもにあった 養育環境の充実に取り組むと ともに、子どもたちへの支援 をさらに充実するため、職員 の資質の向上等を図る。ま た、就職・進学に際し、児童 が希望する進路を選択できる よう、自立に向けた支援を行 う。													
								実績	10,446 人																									
								達成率	96.4 %																									
20	③	里親制度・特 別養子縁組の 推進	子ども総 合セン ター	里親の新規開拓 や里親家庭の支援 等を通じて里親委託 を推進し、委託率の 向上を目指す。 加えて、里親制度 と合わせた普及啓 発を行う等により、 子どもにとって永続 的に安定した養育 環境を提供できる特 別養子縁組につい ても推進する。	要保護児童に対 する里親・ファミ リーホームの 委託率	23.0% (R1年 度)	目標		24.0 %	25.0 %	29.4% (R6年 度)	—	—	3,029	—	19,800	—	NPOや里親支援専門員等の 関係機関とも連携した包括的 なフォostering業務の推進 体制の構築を目指す。	—	「北九州市子どもを虐待か ら守る条例」に基づき、児童 虐待の未然防止に取り組む。 また、児童虐待が深刻化する 前に早期発見・早期対応に取 り組み、子どもの安全を守る ための一時保護や被虐待児の ケア、家族再統合に向けた保 護者への支援等を行うことで 児童虐待の防止に努めるほ か、子どもの心のケアに重点 を置いた取り組みを強化す る。 民間を主体とした「子ども 食堂」の活動をさらに広げる ため、市民や地域・企業等に 理解と参加を促し、支援の輪 を広げていく。														
							実績																											
							達成率																											
21	③ ⑩	児童養護施設 等機能・体制 強化事業	子育て支 援課	児童養護施設・ 乳児院・児童心理 治療施設・児童自 立支援施設・自立 援助ホーム・ファミ リーホーム・里 親において、保護 を要する児童に係 る必要な経費を負 担し、社会的養護 が必要な子ども が、それぞれの子 どもにあった生活 環境で、健やかに 生まれ、自立でき る社会環境づくり を推進する。 また、施設入所 児童等の権利擁護 (アドボカシー) の推進を図るた め、関係機関との 連携や施設等への 訪問を行う。	地域小規模児童 養護施設・小規 模グループケア の実施箇所数	11箇所 (H25年 度)	目標	23 箇所			23箇所 (R1年 度)	継続	2,449,646	2,667,623	その他	12,825	順調	児童養護施設の機能強化や 家庭的養護推進のため、地域 小規模児童養護施設の増設、 家庭支援専門相談員の増員を 行う。 事業を統合したことに伴 い、事業費は昨年度比増と なった。	順調	児童養護施設の機能強化や 家庭的養護推進のため、地域 小規模児童養護施設の増設、 家庭支援専門相談員の増員を 行う。 事業を統合したことに伴 い、事業費は昨年度比増と なった。														
							実績	25 箇所																										
							達成率	108.7 %																										
							目標		前年度比 増加	前年度比 増加											R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	2,449,646	2,667,623	その他	12,825	順調	児童養護施設の機能強化や 家庭的養護推進のため、地域 小規模児童養護施設の増設、 家庭支援専門相談員の増員を 行う。 事業を統合したことに伴 い、事業費は昨年度比増と なった。	順調	児童養護施設の機能強化や 家庭的養護推進のため、地域 小規模児童養護施設の増設、 家庭支援専門相談員の増員を 行う。 事業を統合したことに伴 い、事業費は昨年度比増と なった。				
							実績																											
							達成率																											

子ども家庭局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
22	① ③		<新>養育費 確保サポート 事業	子育て支 援課	公正証書作成に 係る手数料や養育 費立替に係る保証 契約を締結した場 合の保証料の助 成、養育費全般に ついての相談を受 けるアドバイザー を設置し、養育費 不払い解消を図 る。	公正証書作成、 保証料助成申請 件数	R3年度 値を設定	目標			—	R3年度 比 増加 (R6年 度)	—	—	4,200	—	1,480	—	ひとり親家庭が養育費を確 実に受け取り、子どもが経済 的な不利益を被らないように するため、養育費不払い解消 に向けた事業を行う。
								実績											
								達成率											
23	③ ④		親子通園事業	保育 課	幼児期の子ども の発達や育児に関 して、不安や孤独 感を抱えている保 護者にとっては、 思いを共有し、気 兼ねなく安心して 親子で過ごせる場 所を提供する等、 伴走型の支援が必 要である。あそび や体験等を通じて 、子育ての楽し さや成長の喜びを 保護者が感じられ るよう保育所で継 続した支援を行 い、適切な施設へ の移行等の相談に 対応する。	利用者の満足度	100% (R1年 度)	目標	100 %	100 %	100 %	100% (R6年 度)	継続	3,330	2,093	減額	4,650	大変 順調	親子通園実施3施設の状況 について検証していきなが ら、関係機関との連携を密に し、発達が気になる子どもや 育児に不安を持つ保護者に対 して、継続した支援を行う。 活発にPR活動を行い、地域の 実情に合わせ、支援を必要と している親子への情報周知を 図る。 事業費については、人員配 置の見直しにより昨年度比減 となっている。
								実績	100 %										
								達成率	100.0 %										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
24	③ ⑩		児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども 総合セ ンター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な体 制を整備するとと もに、関係機関等 の職員の研修を行 う。	児童虐待対応件 数	目標	前年度比 減少				継続	28,011	32,104	増額	76,500	順調	令和2年7月から実施した児 童の安全確認の一部をNPO法 人に委託する事業を通年化す ることにより、子ども総合セ ンターの職員がより深刻な ケースに集中して対応できる ようにする。	
							実績	2,110 件			H25年度 比減少 (R1年 度)								
							達成率	58.1 %											
						児童虐待による 死亡事案の発生 件数	目標		0 件	0 件									
							実績				0件 (毎年 度)								
							達成率												
25	③ ④ ⑪		子ども食堂開 設支援事業	子育て支 援課	さらなる「子ど も食堂」の普及促 進を目指すため、 コーディネーター の配置や開設補助 など、民間を主体 とした「子ども食 堂」の活動を支援 する。	市内子ども食堂 の実施箇所数 (民間)	目標	H28年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度比 増加	継続	9,500	9,997	増額	11,615	大変 順調	子どもの孤食の解消だけで はなく、高齢者の「やりが い・生きがい」の創出及び学 生コミュニケーション能力 や地域力の向上につなげ、多 くの方々に子ども食堂の活動 への理解と参加を促すため、 フォーラムを開催し、また、 開設のニーズを確実にとらえ るため、出前講演などの機会 を増やすよう努める。		
							実績	30 箇所											R1年度 比増加 (R6年 度)
							達成率	500.0 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
I-1-(1)-⑥ 地域など行政の連携・協働による子育て支援の推進	26	③ ⑪ ⑰	ほっと子育てふれあい事業	子育て支援課	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図る。	相互援助活動件数	7,569件 (R1年度)	目標 前年度比増加	実績 7,569 件	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	継続	14,500	14,500	維持	1,865	順調	子育て世帯への支援に資するため、引き続き会員との信頼関係の確立や地域における子育て支援ネットワークづくりを進める。	順調	身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりやお互いの助け合い、民間事業者との連携など、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。また、子育て家庭のそれぞれの状況に応じて、必要な支援を届けることのできる環境づくりを進める。
	27	③ ⑪ ⑰	みんなの子育て・親育ち支援事業	子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	市内で活動する育児サークル等の団体数	440団体 (R1年度)	目標 前年度比増加	実績 440 団体	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	継続	5,531	5,753	維持	6,400	順調	子育てサークルやフリースペースの活動として、親同士の交流や子どもの遊び・体験活動、地域における交流、子育てについての勉強会など、自主的な活動が広がっている。今後もこれらの活動を支援するため、活動支援補助金の交付や情報発信を実施する。		
	28	③ ⑪ ⑰	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	「赤ちゃんの駅」登録施設数 ※中期目標改訂	459施設 (R1年度)	目標 440 施設	実績 459 施設	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	継続	1,305	1,305	維持	4,400	順調	登録施設の新規開拓に取り組むとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進にむけたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを引き続き進める。  【中期目標の変更内容】 R6年度490施設としていたが、R2年度に達成が見込まれるため、R1年度比増加に変更した。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標		
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	29	③ ④ ⑧	幼児教育の振興・子育て支援機能の充実	幼稚園・こども園課	本市の幼児教育の振興と子育て支援機能の強化を図るため、私立幼稚園での幼児教育環境の整備（施設の設備や備品・教材等の購入など）や預かり保育、子育て相談、体験保育などの子育て支援機能の充実に対する助成を行う。	幼稚園に対する満足度（教育・保育の内容）	86.6% (R1年度)	目標 前年度比 向上	実績 86.6 %	前年度比 向上	前年度比 向上	前年度比 向上	R1年度 比 向上 (R6年 度)	継続	354,870	360,130	維持	6,190	順調	子育て支援機能の充実及び私立幼稚園教育の振興のため、引き続き助成を実施すると共に、特別な教育的支援を必要とする幼児の就園先の確保のため、協定を締結した園に対する助成を継続する。	順調	幼児教育充実のため、引き続き、教育環境の整備などに取り組むとともに、保育所、幼稚園等と小学校間が連携し、保育所・幼稚園等から、小学校への円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子どもへの対応の充実にも引き続き取り組む。
	30	④ ⑪	保育所、幼稚園、小学校の連携	幼稚園・こども園課	保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、公私、保幼小の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」を設置し、年1～2回協議を行う。また、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施するなど、連携推進を図る取組を行う。	保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合 ※中期目標改訂	99.0% (R1年 度)	目標 98 %	実績 99.0 %	98.5 %	99.0 %	99.0% (R6年 度)	継続	1,036	1,088	維持	7,825	順調	年2回の「保幼小連携推進連絡協議会」の開催と、連携担当者と管理職を対象とした研修会を継続することにより、保育所・幼稚園の保育環境から、小学校の学習環境への円滑な接続を図る。  【中期目標の変更内容】 R6年度98.5%としていたが、R元年度に達成したため、99.0%に変更した。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-1-(4)-① 青少年の健全 育成・非行を 生まない地域 づくり	31	④ ⑧	青少年ボラン ティアステー ション推進事 業	青少年課	社会の構成員と しての規範意識や 他者への思いやり 等の豊かな人間性 を育むとともに、 社会性や協調性等 を身に付けること ができるよう、青 少年が行うボラン ティア活動を支 援・促進する。	指標名等	現状値 (基準値)	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	1,533	1,533	維持	11,150	順調	令和元年度は、新型コロナ ウイルス感染症拡大のためボ ランティア参加者が減少し た。今後は、より多くのボラ ンティア受け入れ先を開拓 し、豊富な体験活動のプログ ラムの開発・提供を進めてい く。	順調	
						青少年ボラン ティアステー ションにおける ボランティア体 験活動者数	6,943人 (R1年 度)	6,943 人												
						達成率		97.6 %												
	32	④ ⑧	「ユースス テーション」 運営費	青少年課	中学生・高校生 を中心とした若者 の活動拠点とな り、社会参加準備 のためのさまざま な活動を体験する ことができる施設 として「ユースス テーション」の運 営を行う。	指標名等	現状値 (基準値)	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	46,789	45,774	維持	2,900	大変 順調	引き続き、将来を担う中・ 高校生をはじめとする若者 が、学習や体験、スポーツ・ 音楽活動、仲間との交流など を通じて「自己を発見し、社 会性や自立性を身につける 場」として運営を行う。  ※成果指標を累計から実人数 に変更した。		
						ユースステー ションの利用者 数	29,425 人 (R1年 度)	29,425 人												
						達成率		85.3 %												
	33	④ ⑧ ⑪	子ども・若者 応援センター 「YELL」の運 営	青少年課	不安定な雇用や ニート（若年無業 者）、不登校やひ きこもり等、雇用 情勢の悪化や経済 的格差の拡大、家 族や周囲との円滑 なコミュニケー ションの欠如など により、将来を見 通せない不安の中 で、社会生活を円 滑に営む上で困難 を抱えている子ど も・若者が増加し ている。 そのため、困難 を抱える子どもや 若者を総合的にサ ポート（コーディネ ーター）していく 総合相談窓口『子 ども・若者応援セ ンター「YELL」』 において、自立を 支援する。	指標名等	現状値 (基準値)	500 人	550 人	600 人	750人 (R6年 度)	継続	24,035	24,016	維持	3,775	順調	家族や周囲との円滑なコ ミュニケーションの不足など により、社会生活を営む上で 「困難」を抱えている子ども や若者一人ひとりの状況に応 じた支援を行うため、「子ど も・若者応援センター 「YELL」」の自立に向けた体 験プログラムをさらに充実さ せ、若者一人ひとりに応じた メニューを実施していく。 このほか、オンラインでの 支援など、若者のニーズに対 応した相談方法を検討する。		
						「YELL」来所相 談者の就業等実 績（累計数）	481人 (R1年 度)	481 人												
						達成率		96.2 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
34	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率(暦年統計)	3.6人(R1年度)	目標	前年比減少	前年比減少	前年比減少	R1年度比減少(R6年度)	継続	33,984	31,647	減額	27,450	順調	青少年の非行防止対策では、刑法犯少年の検挙補導人数が大きく減少する一方、いまだ、非行者率、再犯率とも全国平均を上回るなど、解決すべき課題も多い。そのため、地域団体・関係機関で構成する「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」において、非行防止に向けた総合的かつ効果的な各種対策を引き続き検討、実施する。また、青少年が定職に就くことで再犯を防ぐ取り組みを推進するため、引き続き協力雇用主の支援を図る。このほか、スマートフォン等の急速な普及に伴うネット上のいじめ、犯罪被害から青少年を守り、ネット依存など課題を有する青少年を支援するため、(仮称)メディア・リテラシー向上推進会議において、課題解決に向けた検討を行う。		
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社(R1年度)	目標	前年度比同水準	前年度比増加	前年度比増加										
I-1-(4)-③ 若者の自立支援	35	④ ⑧	若者のための応援環境づくり推進事業	青少年課	不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。そこで、若者のための応援環境づくりを推進する。	子ども・若者応援センター「YELL」の相談件数	2,900件(R1年度)	目標	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	R1年度比増加(R6年度)	継続	2,299	2,218	維持	5,525	順調	社会生活を円滑に営む上で「困難」を抱えている子どもや若者が増加しており、抱える問題も複雑化しているため、「子ども・若者応援センター『YELL』」の来所相談以外の相談方法を検討し、若者が相談しやすい環境整備を行うほか、北九州市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の開催を通じた関係機関の情報共有、若者向けホームページの充実による、若者への情報発信を推進する。	順調	青少年を有害環境から守るため、企業・青少年団体・地域等と連携し、有害環境の浄化とともに、メディアリテラシーの向上を図るなどして、非行防止に取り組む。警察や薬剤師会、地域団体等と連携し、薬物乱用の撲滅機運を高めるための取り組みを推進する。また、協力雇用主や保護司と連携し、非行少年の立ち直り支援を進める。
36	④ ⑧		不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業	青少年課	不登校状態にある中学生を対象に、卒業後に孤立することがないように、訪問支援等を通じて一人ひとりに寄り添った伴走型支援を行う。	伴走支援を行った結果、改善が見られた人数	14人(R1年度)	目標	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	R1年度比増加(R6年度)	拡大	10,000	13,000	増額	5,525	大変順調	中学1年及び2年生について、翌年度も切れ目のない継続支援を行うとともに、卒業後の定期的なフォローなども検討する。新規の支援者の量的拡大については、教育委員会や少年支援室を経ず、直接申込みができるよう、電子システムを活用した申込を検討する。事業費については、支援対象人数の増を見込み、昨年度比増となった。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)							
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標						
37	④ ⑧ ⑰		子ども・若者 応援センター 「YELL」の運 営	青少年課	不安定な雇用や ニート（若年無業 者）、不登校やひ きこもり等、雇用 情勢の悪化や経済 的格差の拡大、家 族や周囲との円滑 なコミュニケー ションの欠如など により、将来を見 通せない不安の中 で、社会生活を円 滑に営む上で困難 を抱えている子ど も・若者が増加し ている。 そのため、困難 を抱える子どもや 若者を総合的にサ ポート（コーデ ィネート）していく 総合相談窓口『子 ども・若者応援セ ンター「YELL」』 において、自立を 支援する。	「YELL」来所相 談者の就業等実 績（累計数）	481人 (R1年 度)	目標	500 人	550 人	600 人	750人 (R6年 度)	継続	24,035	24,016	維持	3,775	順調	家族や周囲との円滑なコ ミュニケーションの不足など により、社会生活を営む上で 「困難」を抱えている子ども や若者一人ひとりの状況に応 じた支援を行うため、「子ど も・若者応援センター 『YELL』」の自立に向けた体 験プログラムをさらに充実さ せ、若者一人ひとりに応じた メニューを実施していく。 このほか、オンラインでの 支援など、若者のニーズに対 応した相談方法を検討する。							
								実績	481 人												達成率	96.2 %				
38	④ ⑪ ⑰		「北九州市 『青少年の非 行を生まない 地域づくり』 推進本部」運 営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対 策」「Ⅱ非行から の『立ち直り』支 援」「Ⅲ薬物乱用 の防止と啓発」 「Ⅳ地域団体・関 係機関との連携強 化」の4つの柱を たて、就労支援の 取り組みを強化す るなど、青少年の 非行防止施策を総 合的かつ積極的に 展開する。	少年人口1,000 人あたりの検挙 補導人員を表す 非行者率（暦年 統計）	3.6人 (R1年 度)	目標	前年比 減少	前年比 減少	前年比 減少	R1年度 比 減少 (R6年 度)	継続	33,984	31,647	減額	27,450	順調	青少年の非行防止対策で は、刑法犯少年の検挙補導人 数が大きく減少する一方、い まだ、非行者率、再犯率とも 全国平均を上回るなど、解決 すべき課題も多い。 そのため、地域団体・関係 機関で構成する「北九州市 『青少年の非行を生まない地 域づくり』推進本部」におい て、非行防止に向けた総合的 かつ効果的な各種対策を引き 続き検討、実施する。 また、青少年が定職に就く ことで再犯を防ぐ取組みを推 進するため、引き続き協力雇 用主の支援を図る。 このほか、スマートフォン 等の急速な普及に伴うネット 上のいじめ、犯罪被害から青 少年を守り、ネット依存など 課題を有する青少年を支援す るため、（仮称）メディア・ リテラシー向上推進会議にお いて、課題解決に向けた検討 を行う。							
								実績	3.6 人												達成率	105.3 %				
								目標	前年度比 同水準	前年度比 増加	前年度比 増加									R1年度 比 増加 (R6年 度)	実績	262 社			達成率	112.0 %
								実績	262 社																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-1- (3)-⑤ 非行や 犯罪を 生まな い地域 づくり	39	④ ⑪ ⑰	「北九州市 『青少年の非 行を生まない 地域づくり』 推進本部」運 営事業	青少年課	「I 非行防止対 策」「II 非行から の『立ち直り』支 援」「III 薬物乱用 の防止と啓発」 「IV 地域団体・関 係機関との連携強 化」の4つの柱を たて、就労支援の 取り組みを強化す るなど、青少年の 非行防止施策を総 合的かつ積極的に 展開する。	少年人口1,000 人あたりの検挙 補導人員を表す 非行者率（暦年 統計）	3.6人 (R1年 度)	目標 前年比 減少	前年比 減少	前年比 減少	R1年度 比 減少 (R6年 度)	継続	33,984	31,647	減額	27,450	順調	青少年の非行防止対策で は、刑法犯少年の検挙補導人 数が大きく減少する一方、い まだ、非行者率、再犯率とも 全国平均を上回るなど、解決 すべき課題も多い。 そのため、地域団体・関係 機関で構成する「北九州市 『青少年の非行を生まない地 域づくり』推進本部」におい て、非行防止に向けた総合的 かつ効果的な各種対策を引き 続き検討、実施する。 また、青少年が定職に就く ことで再犯を防ぐ取組みを推 進するため、引き続き協力雇 用主の支援を図る。 このほか、スマートフォン 等の急速な普及に伴うネット 上のいじめ、犯罪被害から青 少年を守り、ネット依存など 課題を有する青少年を支援す るため、(仮称)メディア・ リテラシー向上推進会議にお いて、課題解決に向けた検討 を行う。	順調	青少年を有害環境から守る ため、企業・青少年団体・地 域等と連携し、有害環境の浄 化とともに、メディア・リテ ラシーの向上を図るなどし て、非行防止に取り組む。 警察や薬剤師会、地域団体 等と連携し、薬物乱用の撲滅 機運を高めるための取組み を推進する。 また、協力雇用主や保護司 と連携し、非行少年の立ち直 り支援を進める。	
						北九州市協力雇 用主登録業者数	262社 (R1年 度)	目標 前年度比 同水準	前年度比 増加	前年度比 増加											R1年度 比 増加 (R6年 度)
						実績	262 社	達成率	112.0 %												
						達成率	112.0 %														



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
IV-3- (2)-② 女性が 活躍する 産業 都市づく りの 推進	43	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	午後8時まで延長保育を実施する保育所の施設数 ※指標廃止	目標	3 箇所	2 箇所		R1年度 水準を 維持 (R6年 度)	継続	725,575	705,770	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。  【指標廃止・追加の理由】 保育所から認定こども園への移行などにより施設数は変動するため、実施施設の割合を指標とするとともに、主要な指標に整理する。	順調	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
							実績	2 箇所												
							達成率	66.7 %												
						午後7時まで延長保育を実施する施設数 ※指標廃止	目標	158 箇所	153 箇所		R1年度 水準を 維持 (R6年 度)									
							実績	153 箇所												
							達成率	96.8 %												
						午後7時まで延長保育を実施する施設の割合 ※指標追加	目標		現状値 (93.9%) 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)									
							実績	93.9% (R1年 度)												
							達成率													
						一時保育事業の実施施設数 ※指標廃止	目標	86 箇所	82 箇所		R1年度 水準を 維持 (R6年 度)									
							実績	82 箇所												
							達成率	95.3 %												
一時保育事業の実施施設の割合 ※指標追加	目標		現状値 (56.2%) 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)															
	実績	56.2% (R1年 度)																		
	達成率																			